



としょだより

11月号

富山南高校 図書委員会発行
担当:竹林、鳥取、小森

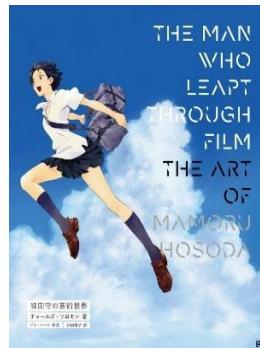
秋も深まってきましたね。食欲、スポーツ、読書・・・いろんな秋がありますが、今月は「芸術の秋」をテーマに、本を紹介します。



『細田守の芸術世界』

チャールズ・ソロモン 著 和田侑子 訳
／グラフィック社

細田守の芸術世界を深く掘り下げた本書は、彼の映画制作における創造の秘密に迫る決定版です。各作品の誕生秘話や、込めた思いを詳細に解説。監督自身のインタビューを交えながら、唯一無二の「細田ワールド」が、いかに構築されているのかを解き明かします。ファン必携の一冊になっています。是非読んでみてください。



『線は、僕を描く』

砥上裕将 著／講談社

この本は、水墨画を通して成長していく青年、青山霜介の物語です。喪失の悲しみを抱えながらも、師匠や仲間たちとの出会いを通じて、自分自身の「線」を見つけていく姿に思わず心を打たれます。「芸術」と人生が交差する感動の青春小説です。ぜひ読んでみてください！



『君を描けば嘘になる』

綾崎隼 著／KADOKAWA

絵を描くことが全てである少女・瀧本灯子と才能と自制心を兼ね備えた少年・南條遙都が出会い、互いに刺激し合いながらアーティストとして成長していく物語です。



*書影の掲載は出版社の許可を得ています。

店頭選書に行ってきました

本屋さんで図書館に入れる本を 選ぶ！

10月10日金曜日、紀伊國屋書店富山店にて、実際に本を見て、図書館に入れる本を選び購入しました。



南高校図書館にふさわしい本は何か、みなさんが興味を持って読んでくれる本はどれか、真剣に考えて幅広いジャンルから21冊選びました。ぜひ、図書館に見に来てください♪

店頭選書で選んだ本から2冊、紹介します。

『きみと真夜中をぬけて』 雨 著／スタート出版

「きみの物語が、誰かを変える。小説大賞」受賞作
人間関係が上手くいかず不登校になった高校生の蘭。
真夜中の公園に行くのが日課で、そこにいる間だけは
“大丈夫”と自分のことを無理やり肯定できただけれ
ど・・・悩んで、苦しくて、かっこ悪いことだってある
日々の中で、ちょっとしたきっかけで前を向いて生きる姿に勇気が貰える青春
小説。



10月27日(月)から11月9日(日)まで、読書週間です！今年のテーマは「こころとあたまの、深呼吸。」

*書影の掲載は出版社の許可を得ています。

『世界一細かい人体図鑑：細かく 知るほど面白い生命の神秘』 山本健人 監修／ナツメ社

カラダの細部を見れば、人体のしくみがよくわかる！細胞、小さな器官・組織、細かな筋肉群、分泌物などの「カラダの細部」にスポットライトを当てて、驚くべき働きやしくみを解説。知っているようで知らない、人体の雑学や医学知識が満載！



企画展示 県立図書館の本



富山南高校図書館は、県内高校で唯一、週1回の連絡車が巡回しています。これを利用して月替わりで企画展示を行っています。

11月は「秋の夜長に、名作ミステリーはいかが？」です。
アガサクリスティー、江戸川乱歩などの名作シリーズをずらり！並べました。短いミステリーを集めた作品集などもあります。長編に挑戦するもよし、スキマ時間に短編を読んでみるのもおすすめです！